

組合だより

【 第 2 9 8 号 平成 3 1 年 4 月 日本羊腸輸入組合 】

理事会

○ 3 月 2 6 日 平成 3 0 年度 第 6 回 理事会

組合事務所会議室において、理事 9 名・監事 1 名が出席し開催されました。
主な議題は、平成 3 0 年度収支見込、第 5 6 回通常総会の提出議案、組合
文書管理規程です。

事務局

○ 組合事務所に係る平成 3 1 年度の火災保険契約を見直しました。

○ 3 月 1 3 日から 1 5 日まで、中国厦門において「2 0 1 9 日中天然腸貿易合
同会議」を開催しました。

○ 組合事務所内壁の一部補修を行いました。

○ 天然腸輸入報告統計 2 月分の公表と 3 月分の報告依頼を行いました。

○ 公認会計士による会計監査が行われました。

統計

* 統計の詳細は組合ホームページで御確認下さい。

【財務省貿易統計】

平成 3 1 年 2 月の天然ケーシング輸入量は、次のとおりです。

- ・ 総輸入量 264. 2t (前月比△134. 8t、△33. 8% / 前年同月比△185. 9t、△41. 3%)
- ・ 中国原産 177. 8t (" △ 66. 6t、△27. 3% / " △146. 3t、△45. 1%)
- ・ 豪州原産 33. 4t (" △ 59. 3t、△64. 0% / " △ 27. 8t、△45. 4%)
- ・ N Z 原産 51. 1t (" △ 5. 4t、△ 9. 5% / " △ 13. 3t、△20. 6%)

【組合報告統計】

平成31年2月の天然ケーシング輸入量は、次のとおりです。

- ・報告数量 合計： 595,126ハクス (前年同月比： 48.9%)
- 羊腸： 572,971ハクス (" : 47.8%)
- 豚腸： 22,155ハクス (" : 117.8%)

*報告組合員数は15社です。

【ソーセージ生産量 (出典：日本ハム・ソーセージ工業協同組合)】

平成31年1月のソーセージ生産量は、次のとおりです。

- *ソーセージ類合計生産量 : 22,735.3トン(前年同月比： 98.4%)
- ・ウィンナーソーセージ : 17,571.3トン(" : 97.8%)
- ・フランクフルトソーセージ : 2,273.7トン(" : 103.4%)

HP更新内容 (統計関係を除く)

○食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件 (周知依頼)

○平成31年度輸入食品監視指導計画の策定について (周知依頼)

2019 日中天然腸貿易合同会議 結果概要

日本羊腸輸入組合は、平成31年3月13日から15日まで訪中代表団を派遣し、中国肉類協会天然腸衣分会 (CNSCA) と「日中天然腸貿易合同会議」を開催したところ、概要は以下のとおり。

なお、CNSCAとの合同会議は、2016年9月に東京での開催以来となるもの。

1. 訪中日程：平成31年3月13～15日
2. 開催場所：中国福建省 厦門 厦門海悦山荘
3. 参加者

日本側：川村理事長、関副理事長、松永副理事長 他10名 (別添1)

中国側：李 中国肉類協会会長、何 天然腸衣分会会長他33名 (別添2)

-2019 日中天然腸貿易合同会議 (3月14日) 議事概要-

4. 中国肉類協会 李水龙会長の挨拶-要旨-

2019年日中天然腸貿易合同会議の主要目的は、日中両国天然腸業界の連携

強化を図り、両国業界が共に関心を有する問題について交流・意見交換を行い、両国の天然腸貿易の健全安定な発展を促進すること。

中国肉類協会は、1992年に設立した全国肉類生産流通業界の社団組織であり、直接会員は約800社以上、間接会員は約2,000社以上。豚肉業界、牛羊肉業界、天然腸など12分会があり、うち天然腸衣分会が一番早く設立され、輸出外向が最も突出した分会。

天然腸衣分会が設立以来20年に亘り、日本羊腸輸入組合と友好関係を築き、両国の天然腸貿易の進歩発展に多大な貢献してきたが、今回の会議を契機に、双方が更に長期安定協力関係を構築し、両国の天然腸貿易協力関係の深化を探索し、中国天然腸業界が国際交流の模範となるよう祈願。

5. 中国天然腸衣分会 何徳康会長の挨拶-要旨-

日中両国は一衣帯水の関係に有り、両国の天然腸市場の相互依存度が非常に高く、中天然腸貿易の長期的な安定発展の為に、長年に亘って両国天然腸業界の関係者が多大な努力を継続。20年来、両会は定期交流相互訪問の機会及びINSCAでの交流舞台を通じて、両国業界が関心を有する貿易法規、動物疫情、検疫消毒、原料品質及び価格趨勢等問題について、相互交流と意思疎通を図り、両国の市場環境に対し相互理解を深め、日中両国の天然腸貿易の安定発展を促進。

2018年8月、中国にてASFアフリカ豚コレラ疫情発生後、日本羊腸輸入組合は早急に日本農林水産省に対し塩漬天然腸の安全性について陳情説明を行い、対日輸出天然腸の輸入検疫許可書の発行保留が最短期間で解決され、双方の貿易順調発展を維持した。

現在、中国は中国特色的社会主義新時代に突入し、中国経済も高度成長から高質発展の段階に転向。新時代につき、中国天然腸業界人も責任を担うべく「優質な天然腸 団体基準」を制定した。これを契機に、中国の天然腸の品質向上を推進できることを期待。

6. 日本羊腸輸入組合 川村 洋三理事長の挨拶-要旨-

長年に亘って日中両国業界組織は『同舟共済』、定期的に相互訪問、動物検疫、貿易制度、市場動向などについて、相互理解と交流を重ね、業界人同士の信頼関係を梃子に動物検疫、貿易面などで有事の際に両国の政府部門へ働きかけ迅速に問題解決へ繋げる等、重大事故や貿易停滞を回避するべく貿易の正常化と持続発展に多大な貢献をしている。現在の日中間の立派な貿易関係は、貴会と日本羊腸輸入組合の深い連帯関係なくしては成し得なかったものであり、業界団体同士の交流の重要性を認識。

中国は、日本にとって天然腸の最大な貿易相手国であり、日中両国間の貿易量は年間 1000 万ハンク以上に達し、中国から輸入した緬・山羊腸は全て日本国内でのソーセージ生産用に消費されており、単一国の消費量としては世界最大。

日本では 1980 年代後半から、天然腸詰のソーセージがブームとなり、以来今日まで消費者から強い支持を得ている。日本のソーセージ生産にとって、中国からの天然腸の安定供給は欠かせないものとなっている。

しかし、天然腸貿易は一国の事情だけでは成り立つものではなく、各国、各地域が独自の動物検疫制度を有し、世界の天然腸貿易の大国に成長された中国業界が、今後も安定的に発展されるには、高い公益性、動物疫学的な高い透明性、衛生管理、使用薬剤、貿易管理などでの高い倫理性が求められている。世界各国の豊かな食生活のために、限りのある資源である天然腸を、『地球から授かった自然の恵み』として、今後も大切に扱われていくことを、強く期待。



(川村理事長と何会長)

7. 日本天然腸業界の現状説明

① 2017年4月に中国、2017年10月にモンゴル等からの天然腸輸入時の日本での消毒を廃止しました。この検疫制度の変更により、輸出国の加工保管施設の指定の遅れや塩蔵条件の周知不足による輸入量の減少など、日本市場への供給混乱が大いに懸念されたが、日中両国政府機関と両会及び双方会員各位の共同努力により、諸問題を解決し貿易の安定を確保。

② 日本が天然ケーシングを輸入できる国及び施設は、限られたものとなっている中で、日中天然腸貿易に関して、次の3点を強調。

- ・日本の天然腸輸入の約95%が貴国からの船積み
- ・日本の天然腸輸入の約70%が貴国原産のもの
- ・日本のソーセージ生産量のうち、約85%がウィンナーソーセージとフランクフルトソーセージが占めており、これらの生産量は年々増加しているが、羊腸・山羊腸と豚腸の輸入量は、2009年に記録した4,700トンに追いついていない

③ 日本の天然腸市場とソーセージ生産は、貴国からの天然腸供給に大きく依存。日本の天然腸市場の継続発展のためには、何よりも量と質の安定供給が不可欠です。そのためには日中業界が協力して、以下の取り組みを行うことが重要。

－加工保管施設の追加認定－

現在、50施設が認定されているが、日本農林水産省追加認定調査待ちの施設についても、今後とも両業界が継続して日中政府機関に要請していくことが必要。

－天然腸価格の安定－

天然腸価格の高騰は天然腸から人工腸への切り替えを加速させることとなる。このため、天然腸価格の安定のための継続した努力が必要。

－品質保障－

検疫時の消毒が不要になったことにより、日本羊腸輸入組員各社の負担が増加。このため、食品に混入してはならない金属やプラスチック類等の混入防止は言うに及ばず、品質維持の重要性を再認識し取り組んでいくことが必要。

－家畜衛生条件の遵守－

検疫時の消毒廃止は、塩蔵ケーシングの家畜衛生条件の遵守を前提に行われたもの。今後とも貴国からの天然腸輸入が円滑に行われるためには、貴会会員企業が衛生条件の遵守と輸出前の万全な準備が必要不可欠。

8. 中国天然腸業界の現状説明

① 中国天然腸輸出の数量

品名	貿易方式	数量(t)	樽換算	HANKS 換算	万ドル
塩漬豚腸（豚大腸除外）	一般貿易	28629.542	190864	28629600	42443.8502
塩漬綿羊腸	一般貿易	12147.517	67486	33743000	46697.6905
塩漬山羊腸	一般貿易	372.08	2067	1033500	1340.7988
其他動物腸		459.674			10303.9508
一般貿易合計		41608.813	260417	63406100	100786.2903
塩漬豚腸（豚大腸除外）	委託加工	46972.686	313151	46972650	21833.681
塩漬綿羊腸	委託加工	8661.142	48117	24058500	8324.7997
塩漬山羊腸	委託加工	38.175	212	106000	37.5602
其他動物腸	委託加工	96.807			235.4037
原料委託加工合計		55768.81	361480	71137150	30431.4446
塩漬豚腸（豚大腸除外）	輸入加工	5031.169	33541	5031150	4483.4315
塩漬綿羊腸	輸入加工	54.042	300	150000	381.3591
其他動物腸	輸入加工	302.329			420.6003
原料輸入加工合計		5387.54	33841	5181150	5285.3909
全貿易方式塩漬豚腸合計		80633.397	537556	80633400	68760.9627
全貿易方式塩漬綿羊腸合計		20862.701	115903	57951500	55403.8493
全貿易方式塩漬山羊腸合計		410.255	2279	1139500	1378.359
全貿易方式其他動物腸合計		858.81			10959.9548
全品種全貿易方式合計		102765.163	655738	139724400	136503.1258

出所：中国国家税务总局/整理：中国肉類協会天然腸衣分会/換算基準：豚腸 150KG/樽，綿山羊腸 180KG/樽

② 2018 年中国天然腸対日輸出状況

商品	2018			2017			年間対比	
	数量 (kg)	樽換算	金額 万ドル	数量 t	樽換算	金額 万ドル	数量	金額
塩漬豚腸	255450	1703	481.04 34					
塩漬綿羊腸	3444898	19138	11762. 7534	3100	17222	9814	11.13%	19.85%

塩漬山羊腸	125168	695	406.75	161	894	488	-22.26%	-16.65%
綿山羊合計	3570066	19833	12169. 5034	3261	18116	10302	9.50%	18.10%

③ 2018年中国豚飼育/と畜統計】

中国国家统计局の統計により、2018年年間豚牛羊食鳥合計生産量は8517万t、前年対比0.3%減少。内豚肉生産量は5404万t、0.9%減少。牛肉生産量は644万t、1.5%増加。羊肉生産量は475万t、0.8%増加。食鳥生産量は1994万t、0.6%増加。豚飼育頭数は4億2817万頭、前年対比3.0%減少、豚と畜頭数は6億9382万頭、1.2%減少。

* 双方業界説明の後、質疑応答が行われ円満成功裡に合同会議は終了した。
なお、質疑応答の内容については、別途、組合員各位に送付する報告書でご確認ください。



(別添 1)

	日本羊腸輸入組合 JNSCA	姓名 Surname/Given name	所属会社・職務 Company & Title
①	理事長 President	川村 洋三 Kawamura Yozo	川村通商 株式会社 代表取締役社長 President, Kawamura & Co., Ltd.
②	副理事長 Vice President	関 道康 Kan Michiyasu	株式会社 日昌トレーディング 専務取締役 Managing Director, Nissho Trading Co., Ltd.
③	副理事長 Vice President	松永 大介 Matsunaga Hiroosuke	株式会社 松永商會 代表取締役専務 Executive Managing Director, Matsunaga Corporation
④	理事 Director	尾上 康浩 Onoue Yasuhiro	株式会社 アートケーシング 代表取締役 President, Art-Casing Co., Ltd.
⑤	理事 Director	角一 健二郎 Kakuichi Kenjiro	日本ハム・ソーセージ工業協同組合 理事 Director, Japan Ham & Sausage Processors Cooperative Association
⑥	理事 Director	佐藤 和統 Sato Kazumune	ナチュルダ・インターナショナル 株式会社 代表取締役社長 President, Naturda International Corporation
⑦	理事 Director	玉川 秀彦 Tamagawa Hidehiko	東都貿易 株式会社 代表取締役 President, Toto Trading Co., Ltd.
⑧	組員 Member	森嶋 隆仁 Morishima Takahito	森久商事 株式会社 代表取締役 President, Morihisa Corporation
⑨	組員 Member	澤登 ゆみ Sawanobori Yumi	株式会社 松永商會 執行役員 海外部 部長 Executive Officer Overseas Div., Matsunaga Corporation
⑩	組員 Member	沖田 輝美 Okita Terumi	株式会社 松永商會 秘書長 Chief Secretary, Matsunaga Corporation
⑪	組員 Member	王 晶 Wang Jing	東都貿易株式会社 営業部 課長 Director, Sales Dept., Toto Trading Co., Ltd
⑫	組員／公式通訳 Member Official Interpreter	中原 小百合 Nakahara Sayuri	川村通商 株式会社 社長直轄 中国産・ケーシング&ミート統括室 室長 General Manager, Casing & Meat Unification Dept., Kawamura & Co., Ltd.
⑬	事務局 Secretariat	依田 隆實 Yoda Takami	日本羊腸輸入組合 事務局長 Secretary General, Japan Sheep Casing Importers Association

(別添 2)

编号	姓名	协会职务	单位名称
1	李水龙	会长	中国肉类协会
2	鲍俊凯	高级顾问	中国肉类协会
3	何德康	会长	上海富恒实业有限公司
4	李喜忠	名誉会长	保定中德肠衣有限公司
5	杨银龙	副会长	上海星星肠衣有限公司
6	叶妙华	副会长	杭州利德肠衣有限公司
7	马惠敏	副会长	保定东方肠衣有限公司
8	金美玉	副会长	青岛海联国际食品有限公司
9	孙季和	副会长	天津鑫和肠衣有限公司
10	曾煜	副会长	新疆康信肠衣制造有限公司
11	闫继存	副会长	郟城宏远肠衣有限公司
12	马秋田	副会长	保定永伟肠衣有限公司
13	胡建国	副会长	保定太行肠衣有限公司
14	吴海龙	副会长	固安县超洋肠衣食品有限公司
15	郭祥金	副会长	大通肠衣(商丘)有限公司
16	翁国权	副会长	上海英德肠衣有限公司
17	何臻俊	副会长	上海耐恰尔肠衣有限公司
18	周维山	常务理事	南通天天肠衣食品有限公司
19	吕宝印	常务理事	润泰(河北)肠衣有限公司
20	乔光荣	常务理事	乌兰察布荣昌工贸有限责任公司
21	王晨	常务理事	天津万德肠衣有限公司
22	马瑞锋	常务理事	保定惠琳肉食品有限公司
22	谢云	常务理事	兰州亚成生物科技股份有限公司
23	李长荣	常务理事	杭州荣顺畜产品有限公司
24	许悟赞	常务理事	南通天龙畜产品有限公司
25	李海生	常务理事	广元市海天实业有限责任公司
27	李程	常务理事	天津市静海县鑫鑫肠衣有限公司
28	马浩	常务理事	固安浩然肠衣有限公司
29	邱绿娟	常务理事	万瀚深(上海)商贸有限公司
30	赵春良	常务理事	杭州鑫丰肠衣食品有限公司

31	周群明	常务理事	浙江欧润食品有限公司
32	万新华	常务理事	江西洪富肠衣集团有限公司
33	王玉忠	秘书长	中国肉类协会天然肠衣分会
34	刘莎	执行秘书长	中国肉类协会天然肠衣分会
35	林佳	信息部主任	中国肉类协会

参考情報

【2019 食肉産業展】

- ・開催期間：4月17日（水）～19日（金）
- ・開催場所：東京ビッグサイト

【I F F A（国際食肉産業見本市）】

- ・開催期間：5月4日（土）～9日（木）
- ・開催場所：ドイツ・フランクフルト国際見本市会場

今後の主な予定

- 4月12日（金） 監事監査
- 4月17日（水） 平成30年度第7回理事会
- 5月27日（月） 第56回通常総会、懇親会

以上